

銅・アルミレポート

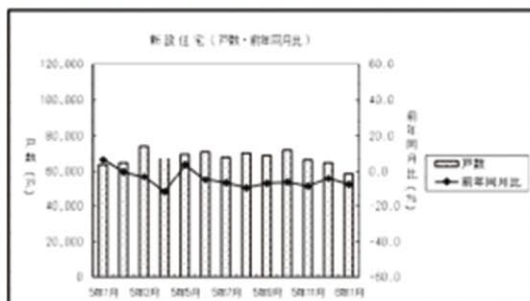
橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

2月のアルミ概況および3月の見通し (2)

予想レンジ

LME現物後買い 2,100-2,200ドル ●
スクラップ +5円~10円 (前月最終価格より) ●
為替 145円~150円 レンジ内
(1か月間TTM)

新設住宅 (戸数・前年同月比)



出典 国土交通省統計

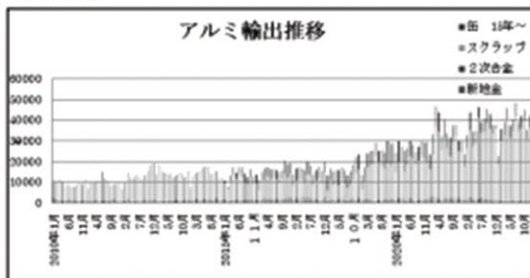
貿易指標

【輸出】

新地金新地金は+246.9%の340 t。
二次合金は-4.5%の791 t。
スクラップは+30.9%の2万3,499t。
アルミ缶は+35.7%の5,058 t。

輸出	1 1月	1 2月	1 月
新地金	378 t	378 t	340 t
前年比	+274%	+51%	+246.9%
二次合金	601 t	793 t	791 t
前年比	-50.6%	-33.5%	-4.5%
スクラップ	2万9747 t	3万5538 t	2万3499 t
前年比	-7.4%	+3.6%	+30.9%
缶	4508 t	5401 t	5058 t
前年比	+13%	+56%	+35.7%

輸出推移



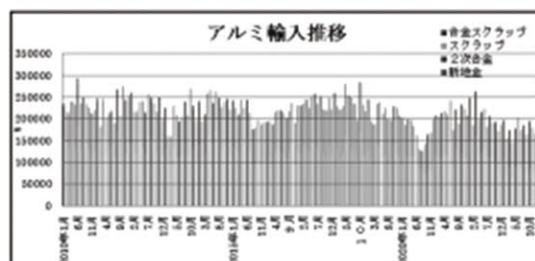
出典 財務省貿易統計

【輸入】

新地金は-11.4%の9万6,570 t。
二次合金は+18.4%の10万3,439 t。
スクラップは-42.3%の590 t。
合金スクラップは-8.9%の8,263 t。

輸入	1 1月	1 2月	1 月
新地金	7万9060 t	7万7221 t	9万6570 t
前年比	-4%	-22.8%	-11.4%
二次合金	9万9089 t	8万7742 t	10万3439 t
前年比	+10.9%	+2.7%	+18.4%
スクラップ	489 t	594 t	590 t
前年比	-12.8%	-26.2%	-42.3%
合金スクラップ	9164 t	8727 t	8263 t
前年比	+33.7%	+27%	-8.9%

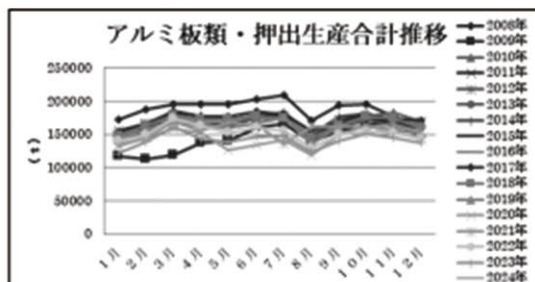
輸入推移



出典 財務省貿易統計

【アルミ圧延・押出品生産数】

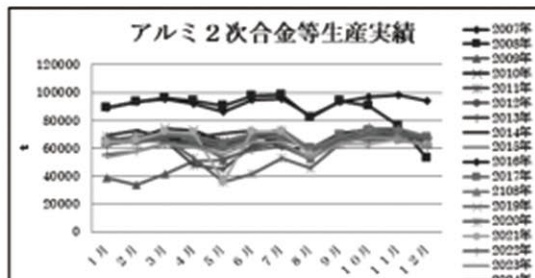
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-3.5%の13万7,054 tで22カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+0.9%の5万4,193 tで2カ月連続プラス。
出荷は-0.3%の5万3,314 tで1か月ぶりマイナス。



出典 日本アルミニウム合金協会

(次頁へつづく)

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると1月の自動車生産台数は前年比-6.3%の54万8,912台。輸出は前年同月比+18.3%の28万595台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると2月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-16%の22万6,769台。

【住宅着工戸数】

1月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比7.5%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は58,849戸。前年同月比7.5%減、8か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は4,491千㎡。前年同月比11.5%減、12か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では802千戸。前月比1.5%減、先月の増加から再びの減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年-3.5%の13万7,054 tで22か月連続マイナス。

板類は7万1,592 tの0%で21か月連続マイナス。

押出類は4万5,975 tの-8.4%で25か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+0.9%の5万4,193 tで2か月連続プラス。

出荷-0.3%の5万3,314 tで1か月ぶりマイナス。

【見通し】

【自動車】

1月の自動車生産が-6.3%。12月国内販売台数が前年比-16%で2か月連続減少。前月に続きダイハツ、トヨタ問題による生産販売低迷が今後しばらく続きそう。

【アルミ圧延・押出品生産数】

前月に続き中国景気後退によるスマホ需要の低迷から来月も期待薄。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

二次合金生産は2か月ぶりに増加したが出荷が減少しておりダイハツ、トヨタ問題による影響から来月以降は注視。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続きLME価格が2,100から2,200ドル台と安定傾向だった。ダイハツ、トヨタ問題で売れず在庫あり。需要面に関してダイハツ、トヨタ問題や中国景気後退から需給は緩んでいる。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策

パウエル議長が根強いインフレ圧力を最新の指標が示す中で利下げを急いでいないとのメッセージをあらためて強調することや2月に発表されたインフレ加速を示す一連の指標から考えれば3月の利下げはない。

②中国 全人代の内容

中国政府は北京で5日開幕した全国人民代表大会(全人代、国会に相当)で、今年の国内総生産(GDP)成長率目標を5%前後に定めたほか、今年1兆元(約20兆9,000億円)の超長期特別国債を発行する計画を発表。それでも金属相場の当初の反応からは、不動産不況と製造業の低迷からすぐに脱出できると予想されていない。

中国は例年3月から4月にかけて繁忙期を迎えるが、建設が活発化する兆しはほとんどない。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,100-2,200ドル(セツル)との予想。

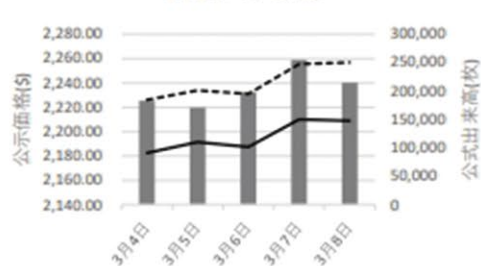
ドル円値は145円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5~10円程度と予想している。

(「2月のアルミ概況および3月の見通し」おわり)

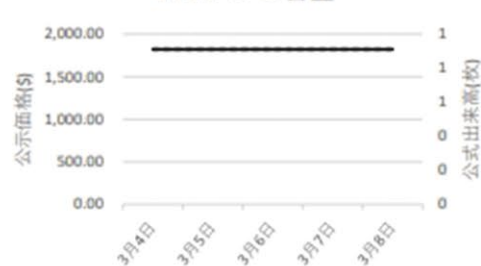
LME公式値週間推移 3月4日~3月8日(現地)

LMEアルミHG



■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEアルミ合金



■ 出来高 — 直物 - - - 先物